

(別紙)

候補名称	選定の理由
にしそのぎし 西彼杵市	<ul style="list-style-type: none">・歴史的に古い由緒ある名前を後世に残したい。・5町が属する郡名で各町にとって公平であり、半島名と同じ名称から地域をイメージでき、住民にも馴染みがあり親近感を抱ける。
さいかいし 西海市	<ul style="list-style-type: none">・歴史的にも由緒ある名称でもあり、西海国立公園、西海橋、西海ブルース等から全国的にも知名度が高い。・日本列島の西端に位置し、美しい海に面した市として、地理的にもイメージしやすい。・「さいかい」は「再会 = もう一度行きたい」に通じる。
にしそのぎし 西そのぎ市	<ul style="list-style-type: none">・「西彼杵」という呼び名は馴染みが深く、「彼杵」を平仮名にすることで新鮮で優しく、柔らかいイメージがある。・「彼杵」は難読なため、平仮名にした。
とよみし 豊海市	<ul style="list-style-type: none">・5つの町の宝である豊かで美しい海を後世に引き継ぎ、大自然を活かしたまちづくりをイメージした。・豊かな自然と美しさに恵まれていて、これから誕生する「市」の発展、反映を願って。
にしのかなたし にしのかなた市	<ul style="list-style-type: none">・「西彼」から西の彼方がイメージでき、一度聞いたら忘れない名称。位置的にも容易に想像できる。・平仮名でソフトなイメージの反面、インパクトがある。・新しい市の誕生であり、これまでの概念を一新できる。・西の端にあることを消極的に捉えるのではなく、柔らかいイメージで積極的に捉える。

五畿七道……律令制下の地方行政区画（山城、大和、摂津、河内、和泉の五カ国と東海道、東山道、北陸道、山陰道、山陽道、南海道、西海道をいう。）

西海……筑前、筑後、豊前、豊後、肥前、肥後、日向、大隅、薩摩及び壱岐、対馬の9国及び2島の称。

起源……肥前風土記（713年頃に風土記の編集・肥前豊後風土記（733年）に彼杵郡が見られる。明治の郡制により西彼杵となる。

大宝律令（701年）……行政法の成文化。

延喜式（905年）……郡里等の名称を文字化した。

（郡とは小城・松浦・佐賀郡、里とは郡の内部での地区分け）